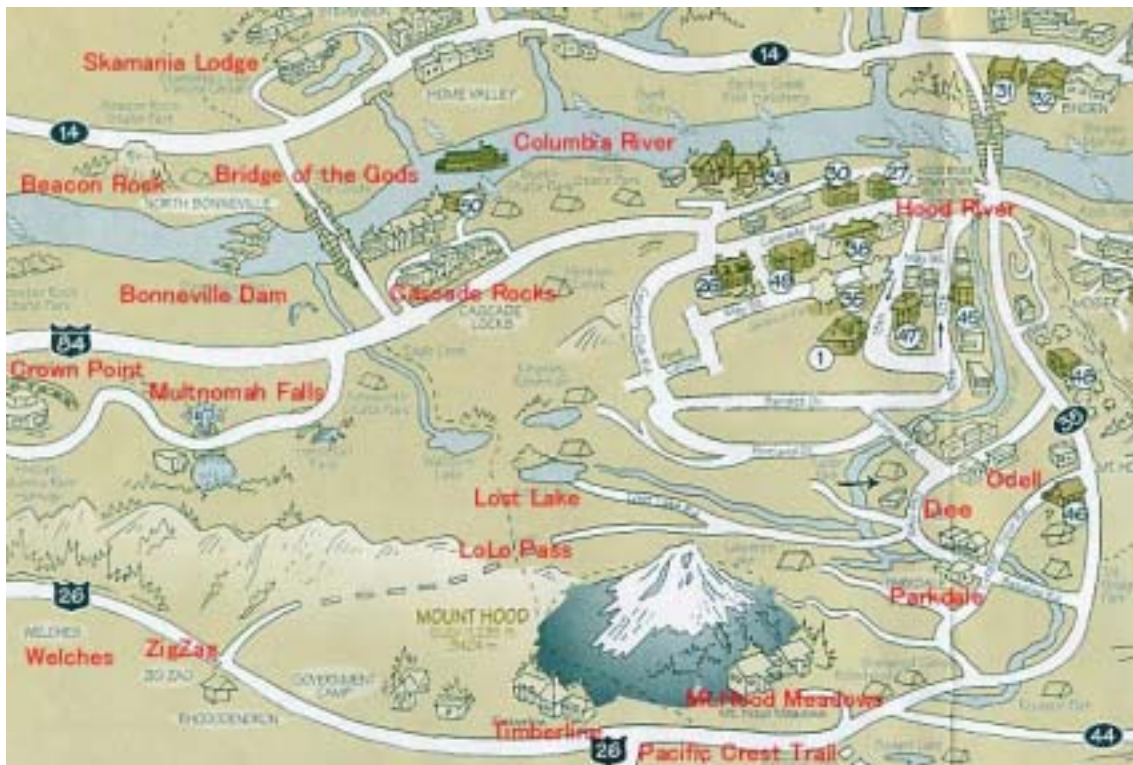


米国オレゴン州旅行(1998)

—その15:フッド山周辺(2)—

オレゴン旅行(15) - フッド山周辺(その2)



今回は7月15日(水)の後半です。Timberline Lodge を後にして6マイルほど下り、ルート26に出て左折、少し行ってルート35へ入り北上。すぐに Barlow Pass を通過 Pacific Crest National Trail と交差する。これはメキシコからカナダまで2000マイルの山脈を縦断している。今までにも何回か出てきている。Barlow の名前は1845年に Samuel Barlow がカンサスシティから西へ西へと進みコロンビア川の都市(Hood River より少し川上)まで来て、川を船にワゴンを乗せて下る予定であったが、船賃が異常に高かったので、Mt. Hood の南側に自費で道路を作り有料道路としたそうで Barlow Pass あたりを Barlow Road が通っていたようである。今でも当時のワゴンの轍の跡が名所として残っている。さらに少し登ると Bennett Pass を通過、ここから左折すると Mt Hood Meadows という椅子付リフトが10もある立派なスキー場がある。雪はほとんど無く Mt. Hood の山麓の傾斜した美しい草原と言う感じであった。ルート35まで戻り、緩やかな下り坂を北へ向かう。途中幾つものキャンプ場があった。視界が開け、北方に Mt. Adams (3742m) が見えるところで、ガソリンがほとんどないのに気がつく。Dee にはスタンド無し。ひや

ひやしながら Odell でルート 35 から外れて部落の中心でやっと給油。そのままローカルを Hood River まで進む。視界が開けたあたりから果樹園が沢山あり、道路脇で、果物の直売を至る所で見かけた。Hood River の町はコロンビア川の崖の上にある坂道の多い小さな町であるが、観光客が沢山いた。ここはウインドウサーフィンで有名な所だそうで沢山のサーファーが楽しんでた。信じられないほど強い風が水上を吹いていた。小さなホテルで昼食。Visitor Information Center で帰りの道について聞いてみた。年配の男性が対応してくれ、LoLo Pass (Mt. Hood の西側の道路) については一部砂利道なのでお薦め出来ないとの事で諦めて元来た道に戻る事にした。時間があれば、Hood River から Parkdale まで 1906 年に建設された Mt. Hood Railroad という観光列車が走っているのに乗ってみたいと言って時刻表をくれたが、一日 1 本朝 10:00 発なので諦めた。この列車は Mt. Hood や MT. Adams を眺めながら果樹園の中を行くのどかな列車のようであった。結局、ルート 35 からルート 26 へ進み、途中で、Mt. Hood が見えたので車の方向を変えて下の写真を撮った。



Welches で、ルート 26 からホテル方向へ曲がる角に大きなマーケットがあったので、少し食料を仕入れてホテルへ。夕方、散歩でゴルフ場のコーヒョップとプロショッブを覗く。この夜は前日と違ってとても静かであった。